

# 新宿区健康づくり行動計画(平成20年度～平成23年度)における目標値変更のお知らせ

新宿区健康づくり行動計画(平成20年度～平成23年度)における大目標「生活習慣病の予防」に関する指標について、健診制度の変更等により、目標値を変更しました。

## 1、中目標「メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少」における指標

(1) 変更理由: 健診制度の変更により、区の健診対象者及び健診結果の判定基準が変わったため

	平成19年度まで	平成20年度以降
根拠法令	老人保健法	高齢者の医療の確保に関する法律
健診の名称	基本健康診査	特定健康診査
区の健診の対象者	40歳以上の区民(職域を除く)	40～74歳の新宿区国民健康保険加入者
対象者数	18年度データ 対象者数 40歳以上 53,662人 (152,883人(40歳以上の区民) ×35.1%(対象人口率) *対象人口率: 職域を除いた対象者 数を算出するための率 受診者数 30,322人	20年度データ(確定値) [a] 対象者数(法定報告) 40～74歳 52,870人 (内40～64歳 32,838人) *1 [b] 受診者数(法定報告) 40～74歳 15,650人 (内40～64歳 7,187人) [b'] 評価対象受診者数(法定報告) 40～74歳 15,698人 (内40～64歳 7,214人) [c] 受診者結果データ管理数 40～74歳 16,359人 (内40～64歳 7,719人)

\*1 「メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少」における各施策の効果を測るため、特定健康診査対象年齢(40～74歳)のうち、40～64歳のデータを指標として目標値を設定しています。

[a] 新宿区国民健康保険加入者のうち、特定健康診査の実施年度中に40～74歳となる者で、かつ当該実施年度の一年間を通じて加入している者(年度途中での加入・脱退等異動のない者)なお、長期入院その他の厚生労働大臣が定める者は、対象者から除く

[b] \*1のうち、特定健康診査受診者

[b'] \*1のうち、特定健康診査

(2) 変更内容: 中目標「メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少」における指標(38ページ)

番号	指標名	対象となる年齢・性別等及び指標の定義	変更前		変更後			
			基準値	目標値	基準値	目標値		
			平成19年度 (18年度健診データ)	平成23年度目標	平成20年度健診データ (確定値)	平成23年度目標		
1	健康診査の受診率	(変更前)40歳以上	57%	70%	-	-		
		(変更後)40～74歳	-	-	15,650 / 52,870 (人)	29.6%	50% (新宿区特定健診受診率目標値)	
		指標の定義等	老人保健法による基本健診の診対象者の受診率 40歳以上の区民(職域を除く)【A】		高齢者の医療の確保に関する法律による新宿区特定健診の受診率: 上記[b/a] 40～74歳の新宿区国民健康保険加入者【a】			
2	肥満者の割合	男20～39歳 *2	94 / 329(人)	28.6%	14%	202 / 733(人)	27.6%	15%以下
		男40～64歳	728 / 2,340(人)	31.1%	15%	949 / 3,033(人)	31.3%	
		女20～39歳 *2	48 / 467(人)	10.3%	10%	110 / 1368(人)	8.0%	対平成20年度比 10%以上減少
		女40～64歳	890 / 5,234(人)	17.0%	15%	631 / 4,686(人)	13.5%	
		指標の定義等	老人保健法による基本健診対象者のうち20～64歳の数を母数として算出した出現率(職域を除く)		上記[c]のうち40～64歳の数、及びその他の健康診査受診者のうち20～39歳の数を加算した数を母数として算出した出現率			
		BMI25以上 [BMI(ボディ・マス・インデックス) 体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)]						

指標番号2「肥満者の割合」については、メタボリックシンドロームは30代から急増が見られ、20～39歳の受診率の向上を図ることが重要であるため目標を設定しています。

\*2 保健センター・区民健康センターにおける健診データ

番号	指標名	対象となる年齢・性別等及び指標の定義	変更前		変更後			
			基準値	目標値	基準値	目標値		
			平成19年度 (18年度健診データ)	平成23年度目標	平成20年度健診データ (確定値)	平成23年度目標		
3	メタボリック シンドローム 該当者・予備群の 割合	該当者 男40～64歳	564 / 2,340(人)	24.1%	21.0%	668 / 2,831(人)	23.6%	対平成20年度比 10%以上減少
		該当者 女40～64歳	445 / 5,234(人)	8.5%	7.0%	186 / 4,383(人)	4.2%	
		予備群 男40～64歳	236 / 2,340(人)	21.6%	19.0%	508 / 2,831(人)	17.9%	
		予備群 女40～64歳	242 / 5,234(人)	7.5%	6.0%	215 / 4,370(人)	4.9%	
		指標の定義等	上記[A]のうち40～64歳の数を母数とした出現率		上記[b']のうち40～64歳の数を母数とした出現率			
指標の定義等			メタボリックシンドローム該当者・予備群 * 該当者: 腹囲男性 85cm、女性 90cm以上で、以下のリスクが2つ該当 * 予備群: 腹囲男性 85cm、女性 90cm以上で、以下のリスクが1つ該当 [リスク] 中性脂肪150mg/dl以上、または、HDLコレステロール40mg/dl未満、若しくはコレステロールを下げる薬服用 収縮期血圧130 mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上、若しくは血圧を下げる薬服用 空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c5.5%以上、若しくはインスリン注射または血糖を下げる薬服用					
4	糖尿病有 病者・予備 群の割合	有病者 男40～64歳	314 / 2,340(人)	13.4%	12.0%	313 / 3,033(人)	10.3%	対平成20年度比 10%以上減少
		有病者 女40～64歳	770 / 5,234(人)	14.7%	13.0%	155 / 4,686(人)	3.3%	
		予備群 男40～64歳	505 / 2,340(人)	10.1%	9.0%	245 / 3,033(人)	8.0%	
		予備群 女40～64歳	393 / 5,234(人)	4.6%	4.0%	207 / 4,686(人)	4.4%	
		指標の定義等	上記[A]のうち40～64歳の数を母数とした出現率		上記[c]のうち40～64歳の数を母数とした出現率			
指標の定義等			* 有病者: HbA1c6.1以上であるかインスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者。 * 予備群: HbA1c5.5以上6.1未満の者。但し、インスリン使用・血糖を下げる薬の服用者を除く。					
5	高血圧有 病者・予備 群の割合	有病者 男40～64歳	778 / 2,340(人)	33.2%	29.0%	1,223 / 3,033(人)	40.3%	対平成20年度比 10%以上減少
		有病者 女40～64歳	1,137 / 5,234(人)	21.7%	19.0%	1,114 / 4,686(人)	23.8%	
		予備群 男40～64歳	500 / 2,340(人)	21.4%	19.0%	417 / 3,033(人)	13.7%	
		予備群 女40～64歳	1,026 / 5,234(人)	19.6%	17.0%	587 / 4,686(人)	12.5%	
		指標の定義等	上記[A]のうち40～64歳の数を母数とした出現率		上記[c]のうち40～64歳の数を母数とした出現率			
指標の定義等			* 有病者: 収縮期血圧が140mmHg以上、又は拡張期血圧90mmHg以上の者、若しくは血圧を下げる薬服用中の者 * 予備群: 収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満かつ拡張期血圧が90mmHg未満である者 収縮期血圧が140mmHg未満かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者 ただし、血圧を下げる薬の服用者を除く。					

番号	指標名	対象となる年齢・性別等及び指標の定義	変更前			変更後		
			基準値		目標値	基準値		目標値
			平成19年度 (18年度健診データ)		平成23年度目標	平成20年度健診データ (確定値)		平成23年度目標
6	脂質異常症有病者の割合	男 40～64歳	308 / 2,340(人)	13.2%	11.0%	1,662 / 3,033(人)	54.8%	対平成20年度比 10%以上減少
		女 40～64歳	361 / 5,234(人)	6.9%	6.0%	2,036 / 4,686(人)	43.4%	
		指標の定義等	上記[A]のうち40～64歳の数を母数とした出現率			上記[c]のうち40～64歳の数を母数とした出現率		
			* HDLコレステロール40mg/dl未満若しくはコレステロールを下げる薬の服用者			* 中性脂肪150mg/dl以上(食後は除く)、またはHDLコレステロールが40mg/dl未満、または、LDL140mg/dl以上、もしくはコレステロールを下げる薬を服用している者。		

2、「がん死亡率の減少」における指標について

(1) 変更理由:、乳がん・子宮がんの検診受診率の算定方法を、区独自の算定方法に基づき目標値を設定していたが、国や東京都の算定方法に改めたため

	変更前	変更後
受診率の算定方法	4月1日現在の住民の数に対象人口率をかけたものを分母とし、分子は当該年度に受診した者	4月1日現在の住民の数に対象人口率をかけたものを分母とし、分子は当該年度と前年度に受診した者を足して、2年連続受診者を引く。

(2) 変更内容: 中目標「がん死亡率の減少」における指標(39ページ)

子宮がんは20歳以上の偶数年齢の女性、乳がんは40歳以上の偶数年齢の女性を対象に実施

	指標名	変更前		変更後
		平成19年度 (18年度健診データ)	平成23年度目標	平成23年度目標
1	乳がん検診の受診率	7.4%	15%	35%
2	子宮がん検診の受診率	6.2%	15%	35%